

～取組概要～

【AI画像検査装置を用いた検査の自動化による品質・生産性向上】

— デジタル導入実証支援助成金利用例 —

企業名：株式会社ガット

事業内容：樹脂・金属精密加工（製造業）

所在地：島根県仁多郡奥出雲町三沢1952-3

設立：2003年／資本金：3,000万円／従業員：24名

■ 取組の経緯（課題）

取扱商品の受注が増加傾向にあったが、従来の設備・人員では更なる増産が困難な状況であり、また目視による商品検査は職員の大きな負担になっていた。そのため目視検査をAI画像検査に変更し、工程内の検査の省略化による作業負担の軽減と加工に特化した作業環境を設定することで生産性の向上を図った。

■ 実施内容

専門家の支援を受けて、左写真のAI画像検査装置を開発し、検査（良品・不良品の区別）の自動化と従来の加工工程毎に実施していた検査を、製品仕上げ後のみに行うことによって業務の効率化を行った。

■ 効果（具体的数値）

- ① **品質の安定化**（AIの検査により、検査結果のばらつきがなくなった）
- ② **生産性の向上**（従来は6名で生産していた数量が4名程度で生産可能に）
- ③ **生産性31%増加**（売上2割UPし、当初の経営計画の売上目標は達成済）
- ④ **作業負担軽減と省エネ対策**（目視検査の省略化と検査時LEDライト設置不要）
- ⑤ **AI検査装置による稼働状況のデジタル化**（データ管理・分析が容易に）

